

鎌ケ谷市青少年センターだより

No.144

緑の子

令和3年10月発行
発行・編集
鎌ケ谷市青少年センター
〒273-0101
鎌ケ谷市富岡2-6-1
(生涯学習推進センター内)
☎047-445-4393



皆川教育長から委嘱状を交付

青少年補導員委嘱状交付式・総会開催

六月五日(土)令和三年度鎌ケ谷市青少年補導員委嘱状交付式及び鎌ケ谷市青少年補導員連絡協議会総会が、新型コロナウイルス感染症対策により、鎌ケ谷中学校体育館において開催され、皆川教育長から委嘱状が交付されました。

任期は、令和五年五月三十一日までとなります。

青少年を取巻く環境は年々多様化しています。青少年補導員の皆様をはじめ学校、家庭、地域社会が連携し、多くの目で青少年の健全育成に取り組んでいくことが重要だと考えます。

市民の皆様には、子どもたちが安心して生き生きと過ごせるよう、引き続き御理解、御協力をお願いいたします。



かまがや83+ (はちさんぶらす) 運動

＝不審者から子どもたちを守ろう＝

「83運動」とは、「子どもの登下校時間(午前8時前後と午後3時前後)に、大人がなるべく外に出たり、買い物や犬の散歩などをしたりしながら、子どもの存在に意識を向け見守ることを生活の一部にする」というものです。

市では、これに「感謝」「応援」「願い」などの気持ちをさらにプラス(+)して、「かまがや83+(はちさんぶらす)運動」としました。

市内の自治会や商店会、さまざまな団体の皆様と協力をしながら、この運動を広め、市全体で子どもたちを見守っていきましょう。



－ 子ども安全メール登録のご案内 －

スマートフォンやパソコン等にメールで「不審者等子どもに関する防犯情報」「危険箇所等子どもの安全に関する情報」等を提供しています。

- ①右記のアドレスへ空メールを送ります。
※仮登録用のアドレス→ kama.kodomo@mpme.jp
- ②本登録案内のメールが届くので、メールに記載された URL 上で必要事項を入力します。
- ③「登録完了」のメールが届いたら完了です。
- ④配信を終了したい場合は、下記にメールを送信後、本解除ご案内メールに記載された URL へ接続し必要事項を入力してください。kama.kodomo_bye@mpme.jp



「家庭教育相談担当者協議会」 に参加して

青少年センター 樋口 敏之

令和三年七月二十七日（火）に、千葉県教育委員会主催による家庭教育相談担当者協議会が、さわやかちば県民プラザを会場に開催されました。はじめに「チームで取り組む家庭教育支援・栄プラン」という演題で、栄町教育委員会の学校・家庭教育アドバイザー並木進氏による事例発表が行われました。

「学び」、「居場所」、「訪問」の三つの柱について話されました。

① 学びの重点は「保護者への学びの場の提供」

親等が家庭で子どもの教育を行う時に必要な心構えや留意点など、学習する機会を提供し、家庭教育の充実を図りながら、子どもたちの健やかな成長を図るとともに、「イキイキ子育てスクール」や「子育て学習会」に参加している保護者の教育の機会をつくり、自身の向上と参加者同士の親睦を目的に開催し、学びの場を提供しています。

② 居場所の重点は「地域の居場所づくり」

家庭教育相談窓口を設置し、家庭教育に関する相談、困りごとについて相談を受ける受け皿をつくり、一人で抱え込まず相談できる環境を整えています。

③ 訪問の重点は「訪問型家庭教育支援」

学びの場や相談に足を運べない保護者への支援は、次のように行っています。

- ・ターゲット型家庭教育支援

具体的な課題を抱える家庭を対象として、一定の家庭に絞って訪問する。

- ・ダイヤルベルト型家庭教育支援

就学時検診のように支援対象者別のスクリーニングが可能で、該当する家庭への電話や訪問等を行い支援することができる。

このように、家庭での教育がうまくいかない家庭や問題はあるが自覚がない家庭、悩みがあるが相談できない家庭等、様々なケースがあり、その家庭にあった働きかけをする大切さを学びました。

次に「発達障害への基本的な理解と対応」という演題で、淑徳大学松浦俊弥教授による講演が行われ、発達障害について、わかりやすく説明して頂きました。

○発達障害の二次障害

本人が発達障害とは知らず怒られることが多い、そのため「自己否定感」に陥りやすくなり、次第に「不登校」「引きこもり」「いじめ」「心の病」等の二次障害を引き起こしやすいく。

○自閉症（自閉スペクトラム症）

- ・対人関係の障害

空気が読めない、ルールが守れない、社会性がない等がみられる。

- ・行動の障害

こだわり、常同行動、自傷行為、他害行動がみられる。

- ・コミュニケーションの障害

言葉が出ない、抑揚やイントネーションが独特、言葉の裏が読めない、表情が読み取れない等の行動がみられる。

○注意欠陥多動性障害（ADHD）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、衝動性、多動性を特徴とする。これらの行動の障害は、七歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全に陥りやすい。

○学習障害（LD）

一般的に知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指す。

最後に

このように障害の有無を問わず子どもたちと接する時、「生まれつきの悪い子はいません」「ダメな子もいません」「子どもは自分で自分がよくわからない」「子どもは言葉でうまく表現することができない」、本当に辛いのはその子ども本人自身なのです。

私たちは、大人の目線でその子どもたちの「行動」や「おもい」を理解しようとせず、素直に受け入れ正しく理解して適切に対応することが必要なのです。

(3)



鎌ヶ谷中学校区



第三中学校区



第二中学校区



第四中学校区



第五中学校区



令和3年度鎌ヶ谷市青少年補導員

鎌ヶ谷中学校区		一 般	林 芳子	中部小教諭	水口 陽介
鎌ヶ谷中教諭	高橋 風樹	一 般	阿部 信一	中部小P T A	水政 伸也
鎌ヶ谷中P T A	梅原美智子	一 般	佐瀬 功	中部小P T A	平野明日香
鎌ヶ谷中P T A	飯田 恵子	一 般	松本 寛芳	民生児童委員	成瀬アツ子
鎌ヶ谷小教諭	島村 拓哉	一 般	鎌田 富美	一 般	小澤佐知子
鎌ヶ谷小P T A	西川 信一	第三中学校区		一 般	青山 恵美
鎌ヶ谷小P T A	富田 晋治	第三中教諭	國友 義昭	一 般	原島 生子
民生児童委員	林 元子	第三中P T A	橋本 典子	一 般	皆川 隆
一 般	野村 利文	第三中P T A	村田みづき	一 般	武藤 健史
一 般	宮本 昌弘	北部小教諭	武澤 勇斗	一 般	二木 淑恵
一 般	森山 智水	北部小P T A	溝田 一夫	第五中学校区	
一 般	和田 幸	北部小P T A	大内 久美	第五中教諭	松永 渉
一 般	關川 宏行	西部小教諭	小金 貴俊	第五中P T A	正藤 夕紀
一 般	田村 聖子	西部小P T A	小川 隼	第五中P T A	清水 薫
一 般	浅見 恵子	西部小P T A	高島 守	初富小教諭	藤代 健太
一 般	高橋 薫	鎌ヶ谷西高教諭	佐藤 恵介	初富小P T A	戸井田緩奈
第二中学校区		民生児童委員	細野 洋子	初富小P T A	岩橋奈津代
第二中教諭	熊谷 政輝	一 般	竹田由美子	五本松小教諭	加瀬 剛志
第二中P T A	三石 晴美	一 般	中村 秀雄	五本松小P T A	雑賀 実穂
第二中P T A	三部富美子	一 般	豊田 則子	五本松小P T A	櫻岡 智美
東部小教諭	佐藤 将実	一 般	絹谷 久男	民生児童委員	菅澤はな子
東部小P T A	門馬 美香	一 般	中尾 有子	一 般	松下 雅彦
東部小P T A	高橋ひさえ	第四中学校区		一 般	岩井喜和子
道野辺小教諭	荒木 貴明	第四中教諭	向山鴻太郎	一 般	岡 早苗
道野辺小P T A	高松こずえ	第四中P T A	越川めぐみ	一 般	岡 勝夫
道野辺小P T A	相坂 香織	第四中P T A	鎌形 小枝	一 般	勝力 明子
鎌ヶ谷高教諭	安藤 洋平	南部小教諭	大木 吾朗	一 般	飯塚ひとみ
民生児童委員	荒井 竜子	南部小P T A	水越 百恵		
一 般	早坂 尚子	南部小P T A	椎名 沙織		

(敬称略)

令和3年度 子ども防犯マップ

令和3年4月～8月末日

【子どもが安心して暮らせるまちに・・・】

- 子どもだけで出かけるときは時間と場所を家族に知らせましょう。
- 人気のない道、夜道の一人歩きはしないようにしましょう。
- よく使う道の「子ども110番の家」を確認しておきましょう。
- 万が一、不審者に出会った時の対応を日頃から話し合っておきましょう。

